



# 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月3日

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社  
 コード番号 8006 URL <https://www.yuasa-funashoku.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 山田 共之  
 (氏名) 黒坂 幸夫

TEL 047-433-1212

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	26,933	△2.8	29	△89.8	158	△60.2	△126	—
2020年3月期第1四半期	27,702	1.8	289	△40.6	397	△34.5	264	△37.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 164百万円 (1,225.1%) 2020年3月期第1四半期 12百万円 (△97.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△28.11	—
2020年3月期第1四半期	58.92	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	52,715	30,366	56.8	6,666.41
2020年3月期	53,596	30,652	56.4	6,729.06

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 29,956百万円 2020年3月期 30,238百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	100.00	100.00
2021年3月期	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当につきましては、現段階では未定とし、業績予想の開示が可能となった時点で、配当予想を速やかに公表いたします。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難なため、未定としています。業績予想の開示が可能となり次第、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                     |            |             |            |             |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2021年3月期1Q | 4,897,723 株 | 2020年3月期   | 4,897,723 株 |
| ② 期末自己株式数           | 2021年3月期1Q | 404,033 株   | 2020年3月期   | 404,012 株   |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計)    | 2021年3月期1Q | 4,493,701 株 | 2020年3月期1Q | 4,494,203 株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが困難であることから、現時点では未定としております。今後、業績予想が合理的に算定可能となった時点で速やかに公表いたします。

なお、詳細につきましては、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により急速に悪化し、緊急事態宣言解除後も経済活動の先行きが不透明な、極めて厳しい状況が続いております。

食品流通業界におきましては、外出自粛や行動制限要請に伴う内食需要により家庭向け商品など一部商品による押上要因はありましたが、外食需要が大きく減退するなか、企業間競争は一段と厳しい状況が続きました。

ビジネスホテル業界におきましては、感染拡大防止の観点から入国制限等の措置が実施されたため訪日外国人は急激に減少し、国内の旅行、イベント等も中止が相次ぐ状況にありました。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き、地域に密着した営業を展開するとともに、商事部門では物流の効率化、ホテル部門ではお客様と従業員の安全確保などを行ってまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は269億33百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は29百万円（前年同期比89.8%減）、経常利益は1億58百万円（前年同期比60.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億26百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2億64百万円）となりました。

## 事業別セグメントの概況

## ① 商事部門

商事部門につきましては、消費者の節約志向が継続するなか、価格競争の激化、物流コストの上昇等、依然として厳しい事業環境となりました。

このようななかで、商品供給を的確に行うとともに、新規取引の獲得、新商材の提案などを積極的に行ってまいりました。

部門別の売上高は、食品では、砂糖が低調に推移しましたが、加工食品、冷凍・チルド商品、酒、菓子が順調に推移したことにより増収となりました。業務用商品では、小麦粉、化成品は前年並みに推移しましたが、外食向け業務用食材、油脂、澱粉が低調に推移し減収となりました。飼料畜産では、飼料は養豚、養鶏の生産者向けの販売が堅調に推移し、畜産は成豚集荷頭数が増加したことにより増収となりました。米穀は、玄米、精米とも販売数量が減少し減収となりました。

その結果、商事部門の売上高は266億95百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は2億41百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

## ② ホテル部門

ホテル部門につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による入国制限や国内各種イベントの中止により訪日外国人客、国内の団体客、観光利用客、一般利用客のいずれも大幅に減少したことに伴い減収となりました。

その結果、ホテル部門の売上高は1億84百万円（前年同期比84.4%減）、営業損失は51百万円（前年同期は営業利益2億40百万円）となりました。

## ③ 不動産部門

不動産部門につきましては、賃貸料収入による売上高が53百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は50百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億81百万円減少し527億15百万円となりました。主な内容は現金及び預金の減少3億86百万円、受取手形及び売掛金の減少5億8百万円、原材料及び貯蔵品の減少2億12百万円、未収入金の減少1億86百万円、投資有価証券の増加4億19百万円などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億94百万円減少し223億48百万円となりました。主な内容は支払手形及び買掛金の減少1億81百万円、短期借入金の減少93百万円、未払法人税等の減少1億31百万円などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億86百万円減少し303億66百万円となりました。主な内容は利益剰余金の減少5億75百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億82百万円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは3億53百万円（前年同期比1億63百万円の収入減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失1億95百万円、減価償却費1億26百万円、売上債権の増減額5億8百万円、仕入債務の増減額△1億81百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは△1億75百万円（前年同期比1億64百万円の支出増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△1億55百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは△5億68百万円（前年同期比1億40百万円の支出増）となりました。これは主に配当金の支払額△4億49百万円などによるものです。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物四半期末残高は前連結会計年度末から3億91百万円減少し66億78百万円（前年同期比9億47百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症拡大の影響が不透明であり、業績予想の合理的な算定が困難であることから、未定とします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,110	6,724
受取手形及び売掛金	13,862	13,354
商品及び製品	1,482	1,644
仕掛品	33	35
原材料及び貯蔵品	813	601
未収入金	3,689	3,502
その他	73	97
貸倒引当金	△30	△27
流動資産合計	27,035	25,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,333	13,333
減価償却累計額	△9,850	△9,921
建物及び構築物 (純額)	3,483	3,411
機械装置及び運搬具	1,829	1,831
減価償却累計額	△1,507	△1,525
機械装置及び運搬具 (純額)	322	306
土地	11,073	11,073
その他	1,650	1,650
減価償却累計額	△1,310	△1,325
その他 (純額)	339	324
有形固定資産合計	15,219	15,117
無形固定資産		
ソフトウェア	107	101
その他	85	83
無形固定資産合計	193	184
投資その他の資産		
投資有価証券	8,264	8,684
長期貸付金	247	242
繰延税金資産	95	16
差入保証金	2,460	2,461
その他	288	284
貸倒引当金	△208	△207
投資その他の資産合計	11,148	11,480
固定資産合計	26,560	26,782
資産合計	53,596	52,715

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,778	16,597
短期借入金	2,267	2,173
未払法人税等	159	27
賞与引当金	68	34
ポイント引当金	14	14
その他	1,793	1,692
流動負債合計	21,081	20,540
固定負債		
繰延税金負債	554	530
退職給付に係る負債	739	714
役員退職慰労引当金	7	7
長期未払金	26	26
環境対策引当金	11	11
その他	521	517
固定負債合計	1,861	1,808
負債合計	22,943	22,348
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,588	5,588
利益剰余金	17,586	17,011
自己株式	△875	△875
株主資本合計	27,898	27,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,448	2,731
退職給付に係る調整累計額	△109	△98
その他の包括利益累計額合計	2,339	2,633
非支配株主持分	414	409
純資産合計	30,652	30,366
負債純資産合計	53,596	52,715

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	27,702	26,933
売上原価	24,662	24,735
売上総利益	3,039	2,198
販売費及び一般管理費	2,749	2,168
営業利益	289	29
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	95	107
その他	14	24
営業外収益合計	114	134
営業外費用		
支払利息	4	4
為替差損	1	0
その他	0	0
営業外費用合計	6	5
経常利益	397	158
特別損失		
固定資産処分損	6	0
新型コロナウイルス感染症による損失	—	353
特別損失合計	6	354
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	391	△195
法人税、住民税及び事業税	87	7
法人税等調整額	36	△74
法人税等合計	124	△66
四半期純利益又は四半期純損失(△)	266	△128
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	264	△126

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	266	△128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△259	282
退職給付に係る調整額	5	11
その他の包括利益合計	△254	293
四半期包括利益	12	164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10	167
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	391	△195
減価償却費	130	126
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31	△34
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△17	△9
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△3
受取利息及び受取配当金	△99	△110
支払利息	4	4
有形固定資産除売却損益(△は益)	6	0
売上債権の増減額(△は増加)	△40	508
たな卸資産の増減額(△は増加)	111	48
その他の資産の増減額(△は増加)	100	192
仕入債務の増減額(△は減少)	△125	△181
その他の負債の増減額(△は減少)	110	63
その他	69	△25
小計	611	384
利息及び配当金の受取額	101	110
利息の支払額	△4	△4
法人税等の支払額	△190	△136
営業活動によるキャッシュ・フロー	517	353
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△14	△155
有形固定資産の除却による支出	△0	△0
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	4	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11	△175
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	70	△93
長期借入金の返済による支出	△13	—
配当金の支払額	△449	△449
その他	△35	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△427	△568
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	76	△391
現金及び現金同等物の期首残高	7,549	7,070
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,626	6,678

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	26,466	1,183	52	27,702	—	27,702
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	9	0	13	22	△22	—
計	26,475	1,183	66	27,725	△22	27,702
セグメント利益又は損失(△)	235	240	49	526	△236	289

(注) 1. セグメント利益の調整額△236百万円には、のれん償却額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△237百万円、その他3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとののれんに関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	26,695	184	53	26,933	—	26,933
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	2	0	13	15	△15	—
計	26,698	184	66	26,949	△15	26,933
セグメント利益又は損失(△)	241	△51	50	240	△210	29

(注) 1. セグメント利益の調整額△210百万円には、のれん償却額△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△210百万円、その他1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとののれんに関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## 3. 補足情報

## (1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年6月30日まで)	当第1四半期連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年6月30日まで)	前年同期比
食品（酒類・飲料含む）	17,824	18,448	103.5
業務用商品	3,888	3,519	90.5
米穀	1,960	1,663	84.8
飼料・畜産	2,791	3,063	109.7
商事部門計	26,466	26,695	100.9
ホテル部門	1,183	184	15.6
不動産部門	52	53	100.7
合計	27,702	26,933	97.2